

# たい肥化できる生ごみ

- ・野菜くず、魚くず、小さい骨鶏の骨（ぐらゐまで）
  - ・果物の皮（リンゴ、ナシ、ブドウなど）
  - ・お茶かす、コーヒーかす
  - ・残飯類
- 塩分の無い物、洗剤・薬品が混入していない物に限ります。十分な水切りが必要です。

## 分別



# 両町内の方々から

## お話を伺いました



畑沢貴美子さん  
(隼人町内)

自分が出した生ごみが、たい肥化されることを考えるととてもうれしいです。説明会の時点では、大変そうだなというのが正直なところでした。でも、やってみたら意外と簡単でした。ごみの分別は、家族の協力がないうちとでき

ません。安全・安心な農作物のためにも、いいたい肥ができるようにしっかりと分別することが大切だと思います。  
自分たち母親が、ごみをきちんと分別して見本を示すことで、子どもたちへの「ごみ教育」にもつながると思います。

奥山裕子さん  
(隼人町内)



最初のうちは、家族への説明が大変でした。でも家族の理解がなければできませんので何回も説明しました。今は、家族全員で協力してやっています。  
100件の協力世帯が集まったのはすごいと思います。実際にやってみると、燃やせるごみの重



相馬エミ子さん  
(西大館町内)

さが軽くなりました。これまでは、1袋持っただけで精一杯でしたが、今では、軽々と2つ持つことができます。間違いなく、燃やせるごみの量が減ったと実感できます。



今まで、生ごみの水切りとにおい消しが大変でした。新聞紙に包んで水分をとったり、ビニール袋